

第 10 回 糸 賀 一 雄 記 念 未 来 賞 受 賞 者 ・ 団 体 紹 介

堀口 旬一朗 氏(埼玉県秩父市)



■略歴

1983 年生まれ。ダウン症・知的障害

社会福祉法人清心会さやかワークセンターに所属。パンやラスクの製造販売に従事している。

2009 年～ 埼玉県のダンスパフォーマンスチーム「ハンドルズ」で表現活動を実施。

2012 年～東京大学市民後見人養成講座で講師を担当したことを契機に講演活動を開始。

2012 年 ホームヘルパー 2 級の資格を取得、グループホームでの介護補助業務に従事。

2023 年 ～バリアフリー演劇「東京演劇集団風」の研修生として活動開始。

現在は、社会福祉法人清心会のアンバサダーとして、情報発信役を担い、研修等の講師や講演活動で障害理解普及啓発活動を実施している。

■活動内容

- ・ 障害当事者として、障害者理解促進に向けての表現活動や講演活動に積極的に取り組んでいる。
- ・ 講演活動での当事者ならではのメッセージの発信は、多くの聴講者の心に響いており、特に清心会創立 40 周年式典での利用者代表スピーチ「ぼくたちの思いをよく聞いてください。勝手に決めつけないでください。うまくしゃべれないかもしれないけれど、よく聞いてくれれば、わかってもらえることがたくさんあると思います。ぼくたちの通訳になってください。」には、彼の活動の根底にある思いが表れている。
- ・ ダンスパフォーマンス能力も非常に長けており、「ハンドルズ」の初期メンバーとして、現在も中心的な役割を果たしている。
- ・ 2023 年から研修生として参加している東京演劇集団風では、本年夏の北海道ツアーにおいてバリアフリー演劇「星の王子様」のヘビ役を担当し、役者としての道も歩み始めている。

ダンスパフォーマンスなどの表現活動や講演活動などで障害当事者ならではのメッセージの発信は、共生社会の実現に向けて、周囲を変えていくエネルギーに満ちた先進的な活動となっており、今後ますますの活躍が望まれるとして、糸賀一雄記念未来賞の受賞となりました。